



希望の丘



- ◇ 学校教育目標 長沼の伝統を継承し、先人から学び、地域に尽力できる生徒
高い見識もち、主体的に学びに向かう生徒
社会を創造して、多様な人たちと相互理解できる生徒

- ◇ 長沼町小中一貫教育重点テーマ「一人一人の学びをしっかりと支え、誰一人取り残すことのない教育の実現」

< 発行者：長沼町立長沼中学校長 渡辺 禎 学校℡(0123) 88-2567 >

「青春って凄く密なのに」

校長 渡辺 禎

25日間の夏休みも終わり、学校が始まって10日ほどが経ちました。休み中には予想以上の感染報告があり心配されましたが、現在(8/26)は収まりを見せています。休み明け初日の集会は前回と同様にズーム配信となりましたが、生徒には以下の内容を伝え自覚を促しました。

<各学年に>

- ・3年生：学校行事と勉強の両立を最高学年のプライドで逞しく乗り越えよう。
- ・2年生：4月から落ち着いた風格のある学年になるための準備を今から始めよう。
- ・1年生：学校祭で喜びや感動を一緒に味わい、絆を深め仲間意識の高い学年になろう。

<全体に>

まずは、感染症対策を徹底させよう。そして、学校祭を成功させ、勉強でも結果を出すことで、一人一人、学級・学年、そして学校全体を一回りも二回りも成長させよう。

「青春って凄く密なのに…」先日終了した夏の甲子園の優勝校監督のコメントで、すでにご存じの方も多いものと思います。私もリアルタイムで拝聴しましたが、言葉の端々に感じる子どもに寄り添う姿勢にいたく感銘を受けました。コロナ禍にありながら、「密」というワードを別な意味で使われたことも大衆の興味を惹き、時の話題として取り上げられたのでしょう。自称「野球人」の私も、これまでは優勝インタビューに無関心でしたが、今回ばかりは聞き逃すまいと思っていました。その理由は、その監督が中体連と甲子園で自分のチームを優勝させた初の指導者になったからです。二つのカテゴリーで子どもたちを頂点に導いた監督のコメントを聞かなければ野球人ではない。その一心でした。

実は今月16日からの1週間、全国中体連大会(札幌市)の審判員として、本校野球部顧問とともに出向していました。数年前から理論研修会や実技訓練などを繰り返して臨みましたが、聖地円山球場のスコアボードに自分の名前が表示されるのもこれが最後だと思い感慨深いものがありました。

そこでは毎日が野球談義で幸せな時間を過ごしましたが、その中に今回の甲子園も話題になっていました。間違っても自分と横並びとは言えませんが、甲子園優勝校の監督が同じ中学野球の指導者(実は部長も元中学校教員)であったことを誇りに思うとともに、あらためて部活動の価値を実感できる貴重な機会を与えていただいたことに感謝と尊敬の念を抱いているところです。

※写真は中体連で全国制覇されたときの優勝旗(リボン)です。



「家族や同居者に発熱や風邪症状がある場合(段階)は登校を控える」実は、夏休み前あたりから、登校後に同居家族のPCR検査の実施や結果の連絡が入ることがあります。本来であればその手前段階で連絡をいただくはずが、連携不足により他の生徒を感染の危機にさらすこととなります。このようなケースは、学校にも責任があると考え、この度は再度のお願いを申し上げるところです。

ただし、この場合の欠席は法律等で強制するものでなく「お願い」です。しかし、新型コロナウイルスは、感染症法で定める「2類」という危険度の高いウイルスに相当すると見なされており、同居家族に体調不良が発生した場合、学校(校長)の判断で出席停止の措置を執ることができます。これに伴い、これまで連絡があったすべての家庭にご理解いただき、同じ対応を繰り返してきました。

学校祭を控え準備作業にも一段と力が入るところですが、感染拡大は行事の中止にもつながります。各家庭におかれましては、この件について再度ご確認いただき、ご協力をお願いいたします。

第9回学校祭に向けて

9月2日（金）に長沼中学校第9回学校祭を実施します。今年のスローガンは「勇気凛々～Don't forget your dreams～」に決まり、現在は部門毎に生徒たちが意欲的に活動し、当日に向けた準備を進めています。

今年度の学校祭については、新型コロナウイルス感染症予防のため、残念ながら保護者の皆様の参観につきましても、ご遠慮いただくことになりました。生徒たちの活躍の様子を見ることを楽しみにされていたとは思いますが、現在、北海道・空知はもとより、全国的にも感染状況は悪化の一途を辿っており、やむを得ない判断となりましたことをご理解ください。尚、当日の活動の様子などにつきましては、学級通信やホームページなどを中心にお知らせする予定です。



ICT 活用・表現力の向上

～修学旅行のまとめ～

7月に行った修学旅行中に調べたことや体験したことについて、グループ毎にまとめたものを8月18日（木）に発表会を行いました。今回も、タブレットを使って、旅先で撮った写真や資料をまとめました。中には、聞き手にとって分かりやすい表現や提示の仕方などの工夫を考えた発表も見られ、さすが3年生と言えるものも多かったです。いよいよ学校祭も間近になってきましたが、ここから先は来月の学力テスト・期末テストなど、3年生は受験に向けた活動が本格化していきます。



ナガチュウのアツい夏 中体連全道大会・吹奏楽コンクール

夏休みに入ってすぐの7月29日からは、留萌市でサッカー部が、30日からは、岩見沢市で女子剣道部がそれぞれ中体連全道大会に出場しました。

サッカー部の一回戦の相手は強豪揃いの激戦区十勝地区を勝ち抜いてきた南町中学校。試合が始まるとゲームの主導権を握られ、苦しい戦いとなりました。それでも、空知地区を勝ち抜いてきた自信と、これまでのトレーニングの中で培ってきた「走るサッカー」で、相手にゴールを許さず、反撃の機会をうかがう展開となりました。しかし、相手に勢いを抑えきれず、前半と後半開始直後に失点。一気に相手のペースに持ち込まれそうになりましたが、最後まであきらめない強い気持ちを持って戦い続け、幾度かつかんだチャンスは残念ながら決めきれず、初戦で敗退となりました。

女子剣道部は、初日に個人戦出場の2名が登場しました。■さんは初戦で惜敗。空知地区3位の■さんは一回戦を見事に突破したものの、二回戦で惜敗となりました。しかし、どれも接戦となった個人戦での戦いが、翌日の団体戦に向けての自信となりました。昨年度の男子が果たした予選突破を目指した2日目。1次リーグ初戦の相手は、優勝候補の森中（渡島代表）。善戦はしたものの力の差は大きく完敗。しかし、敗戦のショックに負けずに挑んだ駒場中（十勝代表）では、3勝2分けで見事に勝利。しっかりと足跡を残してきました。



8月7日には吹奏楽部がコンクールに出場しました。今年の自由曲は「ルーマニア民族舞曲」。独特のリズムに練習開始当初は苦しめられたものの、少しずつ自分たちの音楽にしていく楽しさも知ることが出来た日々の全てを5分30秒の演奏に込めて、本番を終えました。結果は、昨年に続いての金賞とはなりませんでしたが、銀賞を受賞することが出来ました。演奏を終えた部員達は、上手いかなかったところもあったようでしたが、1年かけて目指してきた演奏をやりきった満足感が勝った表情をしていました。3年生が演奏する機会は、学校祭を含めて残りわずかです。コロナ禍の状況によりますが、ぜひ、10月8日の定期演奏会に足をお運びください。



